

夢窓幼稚園通信第1号

2018年 4月 6日

♪ はなよ はなよ めをさませ
とりが ないて よが あけた

新しい年度が始まりました。

早く咲いた さくらは、今やわらかく緑をふくらませて
います。イチョウの赤ちゃんのような葉は、毎日大きくなって
いき愛らしいです。藤は今にも咲きそうです。蔓桔梗も
これから つるを どんどん伸ばしてくることでしょ、
デッキのラブリーな花壇も、もくれん下の花壇も 草花が
目を覚まして にぎやかです。

さあ もうすぐ新しい子どもたちもやってきて、新たな
家族が 勢ぞろい です。

あふれる いのちの シンフォニーです！

♪ みんな おなじ いきているから
ひとりに ひとつずつ たいせつな いのち

一人ひとりが いのち ゆたかに、そして共につむぐ
園が、わたしたちの土地が、社会が……、いのちある
もの(有機体)として ゆたかにありますように！と、
願います。

幼な子の小さく見える体験は、実はとてつもなくすごい
宇宙的な出来事…濃縮していて、根源的で、心と世界
とが深く強く結びついた出来事…です。

人の心は とらわれることなく、ゆっくり ゆったりして ゆたかに
あったら、その心が世界と出会う瞬間に魔法の力が働
いて、世界に 明るさと よろこびが ふくらむのですね。

幼な子が過すこの場所で、私たちは自分の内なるところで
生きている 3歳 や 4歳 を 再び 目覚めさせたいと思います。

あの偉大な 幼児性を です。

目の前のものに、この瞬間に、すべての共感をもって向き合う魂は、共に生きる人を解放し、忘れていた瑞々しい可能性や 未来へのヒントを与えてくれます。

とても生きづらい時代です。見通しを持ちにくい時代です。

だからこそ 未来を発信する 私たちのこの場で、ゆめや願いを ゆたかに あふれるいのちと共に大切にふくらませていたいと思います。

(この夏 私幼団体で開催する大会に向けて先日投げかけしたものを掲載させていただきました。合わせてご一読下さい。)

うれしい1年を共に過しましょう!

園長 升光 泰雄

「政令私幼 京都大会」に向けて

京都市私立幼稚園協会 会長 升光泰雄

社会がゆたかで愛にあふれたものであるかは、社会制度がすばらしく整っているか、経済的に潤っているかどうか以上に、そこに生きる一人ひとりがそれぞれの自分らしく、納得のいく生き方ができるかどうかにかかっているのだと思います。

大地と天空の間で世界を愛し賛美して生きる幼な子は、夢見がちで社会的な生産性を今は持ち得ないとしても、その立ち姿にはこの世知辛い時代を超えて未来に向かう、何か素朴なヒントがそこにはあるような気がするのです。幼稚園の世界はドラマチックで、わくわくのワンダーランド満載のちびっこワールドです。子どもたちはちょっぴり宇宙人みたいで、不思議なところがいっぱいですが、それは未知なる価値をいつの日か実現していく存在だからでしょう。

3歳や5歳の子どもたちは、憧れやかがやき、認め合いや教え合い、ときには以心伝心もお手のもので、関係性を深め、すでにして社会を内なる思いにしたがつくっているのです。

「私」が生き「あなた」が生き、その関係性を「社会」と呼ぶなら、それらを生かしている指針はそれぞれの内にあるはずです。

しかし近年、幼児教育・保育界にはますます外なるところから様々な要請が、次々と投げかけられています。幼稚園の立ち姿や機能は、子どもたちの願いや私たちの精神から築きあげていかなくてはならないはずですが。今は経済界からの求めや社会問題の担い手先として選択を迫られている感じがします。

社会からの要請に答えていくことも健全な経営もとても重要ですが、同時に幼児教育の根本的な意味を私たち自身があらためて自覚し、そのことを私たちの思いと共に社会に届け理解を求めていくことも大切なのではないのでしょうか。

今年7月に、私たちは「政令指定都市私立幼稚園団体協議会」の夏の大会を開催します。せっかく与えられた大切な機会ですので、私立幼稚園がますます輝き元気になるように、そしてそのことを通して子どもたちの未来が、社会の未来がよりゆたかになるために運営をしていきたいと思っています。

全体テーマは次の通りです。

よろこびあふれる「私立幼稚園」に向けての協働作戦会議！

～誰にとってのよろこび？・・・もちろん「幼な子」にとって、共に過ごす「大人」にとって、そして「社会」のみらいにとっても～

基調講演は、みらい館の館長でイラストレーター の我らが「永田萌さん」と、CRO(レジリエントシティ 京都市統括監)の「藤田裕之氏」の2本立てです。

また「人材確保の方策」や「満3歳未満児受け容れの課題や可能性」など、私たちにとって身近な話題をテーマに思い巡らすことができらばと思っています。

各政令市からそれぞれ10名くらいの団体役員の先生たちが参加されますが、京都は協会会員の皆様にはオブザーブ参加をしていただけます。

あらためてご案内をさし上げますので、その折にはどうぞ奮ってご参加下さい。